



エルジンジャン盆地の 北アナトリア断層

トルコ東部・エルジンジャン地域の北アナトリア断層の活動史を明らかにするため、トルコ地下資源調査開発総局 (MTA) と共同でトレンチ発掘調査を含む断層の精密調査を実施した。詳しくは本文26～33頁を参照されたい。(環境地質部 奥村晃史・地質部 吉岡敏和・MTA İsmail Kuşçu)

1. 南側から見たトレンチサイト。写真手前の白っぽい地面と、奥の緑の草に覆われた地面の境を走る断層をまたいで、2つのトレンチが掘削された。



2. サルカヤ地区のトレンチ西壁面に現われた北アナトリア断層。画面左下の扇状地礫層の右端に沿って剪断帯が存在する。画面中央の焼んだ泥炭層は紀元13～14世紀の地層で、これ以降少なくとも3回の断層活動が推定された。

3. サルカヤトレンチ西方約5 km地点で累積的な右横ずれ変位を示すユーフラテス河の河岸段丘。画面下方(断層北側)の段丘崖(電柱の立つ緩斜面、年代未詳)を、南側、黒土の畑手前の段丘崖に対比すると、変位量は約80mと推定される。

